

学生大使 実施報告書

氏名：吉清水 繪

学部・学科（コース）・学年：人文社会科学部・グローバル・スタディーズコース・1年

派遣先大学：ベトナム国家農業大学

派遣期間：2024/02/21-2024/03/05

1 日本語教室での活動内容

- ・4,5人ずつのグループを作り個々のレベルに合わせて日本語を教える
(ホワイトボードや、百均のひらがなやカタカナのテキストを用いた)
→ひらがな・カタカナの書き取り練習、文法説明、日本語検定過去問、日常会話
- ・日本語を用いたゲーム
(ひらがなを黒板にランダムに書き、読まれたひらがなを早くタッチできたチームがポイントを得る)
- ・日本のお茶やお菓子を楽しみながら、折り紙をしたり絵を描いたり、日本語検定の過去問を一緒に解くなど、近くに座った人と自由に交流
- ・発表会（最後に皆の前で感想を話す）

2 日本語教室以外での交流活動

- ・英語クラスへの参加
1 回目は日本人4人のみの参加で、クラス全体に向け、事前に準備した日本の文化についてのパワーポイントを英語で発表した。発表後、ベトナムの生徒からの質問に答え、逆に私たちからも質問をし、答えてくれた人には日本から持ってきたお菓子をプレゼントした。日本人によるパワーポイントの発表後、クラス全体に向け日本語教室を行い、日常で使う挨拶や自己紹介の仕方を、英語で説明しながら教えた。黒板に日本語と読み方のローマ字と英語訳を書き、皆で声に出して読んだ。その後、挙手制で、1人で読んでくれた人には質問の時と同様に日本のお菓子をプレゼントした。慣れてきたら読み方のローマ字の部分の部分を消して難易度を上げる工夫もした。授業の終わりには皆で写真を撮ったり、SNSを交換したりと仲を深めることが出来た。
2 回目は日本人全員での参加だったため、クラス全体ではなくグループごとに発表や交流をした。日本の文化に興味のあるものや体験したことがあるもの、ベトナムで有名な日本のアニメについて話したりと、少人数だからこそより親密な話もすることができた。

3 参加目標への達成度と努力した内容

私の参加目標への達成度は90%だと考える。理由としては、予想していたよりもはるかに充実した、現地感たっぷりの異文化体験・異文化交流ができたからだ。ベトナムはバイクの

【学生大使 実施報告書】

交通量が多く、また私たちのホテル周辺はほとんど信号がない地域だったため、最初は道路を渡るのにもひやひやしていたが、2週間も経つとバイクのギリギリを歩いて渡れるまでになっていた。残りの10%を引いた理由としては、私が目標としていた英語でのコミュニケーションにあたる部分だ。ベトナムは日本と同様に英語が第1言語ではないため、英語を第1言語としない者同士で、語彙力の差や発音の違いを乗り越えながらコミュニケーションを頑張りたいと思っていた。しかし、英語を話せる人が思っていたよりも少なく、その目標を達成するまでには至らなかった部分があった。それでも、日向クラブのメンバーで英語が話せる友達との会話や、現地の大学での英語授業では積極的に英語を使いコミュニケーションをとる努力はできたと考える。

もう1つ特に努力した内容として、私が日本語教室でよく教えていた、10月に日本に留学に行くために勉強している18歳の男の子は英語があまり話せなかったため、日本語の単語や文章の意味を教えたり、文法のニュアンスを解説したりするのに苦戦した。英単語の意味は知っていても、英語の発音に違いがあり通じないこと多かったので、ホワイトボードに日本語と英語を書いて説明したり、細かい部分はベトナム語に翻訳したりして上手く伝えることができた。

4 プログラムに参加した感想

今回この学生大使プログラムに参加し2週間ベトナムで過ごして得た経験は、間違いなく自分の人生に大きな影響を与えるものになったと感じた。私にとっては初めての海外ということもあり、街並みや文化・言葉・人・衛生面など日本との違いに、驚きとワクワクで刺激的な毎日だった。

私自身今までは、ベトナムについて知っていることが少ないのに調べようとしなかったり、伸ばしたいと思っている英語の勉強を疎かにしてしまっていたりと、学ぶことに対するモチベーションが低下していたように感じられた。しかし今回の派遣で、現地の友達に言葉を教えてもらって通じた瞬間の喜びや、日向クラブのメンバーの日本語を学ぶ意欲の高さから影響を受けて、ベトナムについてもっと知りたいと思うとともに、英語力の向上に向けて日頃から熱心に勉強に取り組みたいと考えるようになった。

5 今回の経験を踏まえた今後の展望

今回のベトナムでの経験から、在学中で時間があるうちに自分のやりたいことを追及して将来の夢に繋げていきたいと考える。私は将来的にグローバルな環境で日本語と英語を使って働きたいと考えているため、在学中に英語力の向上に努め、またさらに海外体験を積んで異文化を実際に体験したい。それにより広い視野で物事を見ることができるようになり、グローバルな環境で働く上での大きな武器になると考える。

またベトナムのハノイで2週間生活した中で、地方部と都市部間の格差を目の当たりにした。信号や道路の整備などの街並みはもちろんのこと、施設のトイレや衛生管理、物価、語

【学生大使 実施報告書】

学力などの点において大きな違いを感じた。ベトナムの首都であるハノイでもそのような格差が見られるということは、地方ではさらにひどい格差があり、また世界にはこのような現状が広がっているのだろうと思った。そこで、世界で起こっていることや世界の問題に今まで以上に注目して知っておくことが大事だと感じた。そのような世界の問題にも目を向けている企業へのインターンシップやその活動への参加もしていきたい。

6 現地での活動写真

英語授業



日本語教室



【学生大使 実施報告書】

メガワールド



ベトナムの食べ物

